

マーケットの動き（2025年3月10日～3月14日）

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

週初は前週末の米長期金利の上昇を受け国内債も売り優勢となりましたが、12日の20年物国債入札を無難に通過するとその流れも一服しました。週末には米国の関税政策による景気減速への警戒感により米長期金利が低下、国内債にも買いが波及し、ほぼ横ばいで週を終えました。

クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年3月）

国内長期金利はレンジ内で推移

日銀総裁が国内物価情勢についてインフレ状態との認識を示し、1月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年比）が3カ月連続で拡大する中、今回の利上げ局面において投資家の予想する日銀の到達金利は切り上がっているとみられます。一方、足元では長期金利上昇やインフレにより国内消費の一部に低下もみられることに加え、日銀総裁は機動的な国債買い入れ増額などの実施に言及していることから、国内長期金利はレンジ内での動きになるとみています。

	3月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.54	0.01	0.19	0.70	0.77
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	347.84	▲0.13%	▲1.45%	▲4.14%	▲4.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202503_outlook.pdf

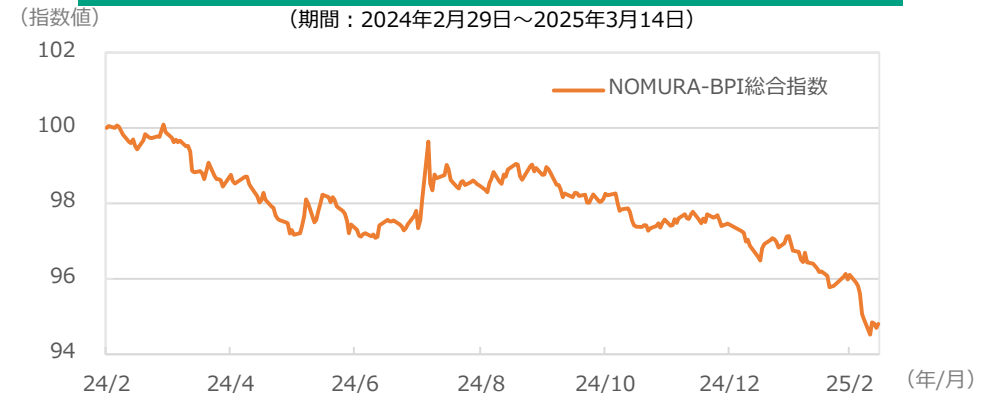
日本国債利回りの推移

（期間：2024年2月29日～2025年3月14日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年2月29日～2025年3月14日）



※2024年2月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>